



バンコク便り



1. はじめに

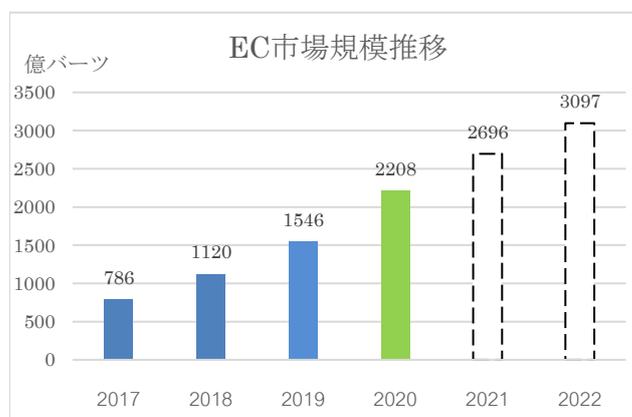
タイでの非常事態宣言が11月30日から来年2021年1月15日まで延長されることになりました。人の移動が増えると見込まれる年末年始の新型コロナ感染拡大を防ぐ目的とされ、今回の延長で8度目となります。最近のタイ国内での感染拡大は収束し生活には問題ありません。一方で、各地で開催されている政治集会在若干活発になってきたように感じます。長期化も懸念されるため、タイ在住者や訪タイの際には注意が必要です。

2. 当地ビジネス情報

(タイの電子商取引 (EC) について)

中国の「独身の日」(11月11日)に合わせて、当地タイでもEC業者が大型セールを開催しました。大手ECサイトの「Lazada」では開始2時間で10億パーツ(約35億円)を売り上げ、他の大手サイトでもお菓子の販売量が8時間で15,000袋以上となったそうです。新型コロナの影響もあってか、今年のEC市場規模は約2,200億パーツ(約7,700億円)に到達する見通しの他、11月27日の「ブラックフライデー」や12月12日の年末セールも予定されているなど、独身の日に限らず、毎月のようにEC・小売店ともにセール情報が満載です。

タイのEC事業については先日山形県タイ友好協会WEBセミナーでも取り上げましたが、インターネット利用率は約90%、携帯電話人口普及率は約190%となっています。街中や電車内でも、多くの人々が携帯画面に釘付けでショッピングサイトやSNSサイトを見ているようです。最近では食事の配達からタクシー配車、日用品購入などで当たり前のようにネット取引が利用され、その利便性は益々高まっています。日本企業の参入には依然高いハードルが存在しますが、今後は、タイにおいてもSNSやECを有効活用することが重要となると考えられます。

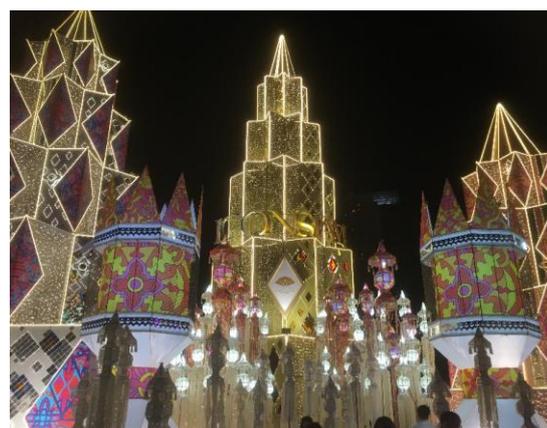


出典: Statista (Forecast adjusted for expected impact of COVID-19) November 2020

3. 現地トピックス

(①バンコクの盛り上がり)

チャオプラヤ川沿いにありバンコク高島屋がキーテナントとして入る大型商業施設ICON SIAMの屋外スペースでは華やかな装飾や特設ステージでのライブが行われるなど、多くの人で賑わっていました。今年4月の夜間外出禁止令の際にはバンコクの夜は非常に静かな状態でしたが、大音量での音楽の中、鮮やかなイルミネーションやイベントの様子などを見ると、以前と変わらないバンコクに戻ってきていることを実感します。未だ観光目的など自由な入国はできない状況ではありますが、タイへお越しの際にはバンコクの盛り上がりを感じ取っていただけるのではないのでしょうか。



ICON SIAM 屋外のイルミネーション

(②空港往来時のタクシー特別料金)

11月17日よりバンコク圏の空港をタクシーで往来する際の手荷物一個当たり20~100パーツの特別料金が課せられるようになりました。なお、料金支払いには運転手と乗客が出発前に同意する必要があり、歩行補助具や比較的小さな鞆(3個目から課金)などは課金されません。一辺が58cm超の荷物が20パーツ程度、ゴルフバッグなどの大型荷物が一辺が127cm超は100パーツ程度となります。また空港からタクシー利用をする際には、空港使用料(50パーツ)を支払う必要がありますので、タクシー利用時の料金トラブルにはお気を付けください。

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)